

「地域における行政栄養士による健康づくり及び  
栄養・食生活の改善の基本指針」を实践するための  
資料集

—成果のみえる施策に取り組むために、地域社会・食・身体  
の構造をみる—

平成25年4月

厚生労働省健康局

がん対策・健康増進課栄養指導室

## はじめに

平成25年度から開始する健康日本21（第二次）の推進に当たり、行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活の改善の一層の推進が図られるよう、「地域における行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活の改善について」（平成25年3月29日付け）が健康局長から通知され、同日付けで「地域における行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活の改善の基本指針」が、がん対策・健康増進課長通知として示されました。

少子高齢化が一層進行する人口減少社会において、できる限り、予防可能な疾患を防ぎ、身体機能や生活機能を維持することは、健康長寿を実現していくためにも、持続可能な社会を実現していくためにも重要です。

その基盤となるのが、健康づくり及び栄養・食生活の改善です。

特に、「食」は、健康や生活習慣病など身体状況との関わりが大きく、地域や環境との関わりも深いものです。これらの構造を整理した上で、地域の栄養・食生活改善に取り組むことが求められます。

一方、予算や行政栄養士数など資源に限られるなかで、行政として栄養・食生活改善に取り組むに当たっては、基本指針でも強調されているとおり、「施策の成果が最大に得られる」ことが重要な要素となります。

成果のみえる施策に取り組むために、地域社会・食・身体の構造をどうみていけばよいのか、その視点や考え方を共有し、理解を深め実践していけるよう、参考資料を作成しました。内容については、人口や社会保障など施策に取り組む上での基本事項とともに、医療費等の伸びの抑制につながる疾病の改善や食事の改善の特定をどう図るか、全国や他県との比較によってみえてくる自治体の特徴とはなにかを考えるツールとなるよう、ワークシート形式での資料集としてとりまとめています。

本資料集は、国立保健医療科学院で本年度行う「健康日本21（第二次）推進のための栄養・食生活の施策の企画・調整に関する研修」で教材として活用するほか、各種研修とともに施策の企画や効率的な業務への見直し等において活用していくことで、その内容をよりよいものに発展させていくこととなります。

健康日本21（第二次）の推進に当たって、行政栄養士の業務指針への理解が深まり、実践が伴うことで、栄養・食生活の改善による施策の成果が最大に得られる体制の確保や施策の推進が図られることを期待しています。

## 本資料集の活用に当たって

この資料集は、全国で5千人を超える行政栄養士が成果の見える施策に取り組むための参考資料の1つとして作成しています。

本資料集でとりあげた基本的事項や各種資料、考え方については、今後、以下のとおりの活用を進めていくことにより修正、改善していくことを想定し、とりまとめた現時点版です。

本資料集のとりまとめに当たっては、都道府県が市町村と協働して施策の成果が最大限に得られるよう、健康や栄養・食生活に関係する情報を全国及び他県と比較し、その特徴をとらえることをねらいとしました。また、医療費等の伸びの抑制につながる疾病の改善や食事の改善を明らかにしていくことをねらいとし、本資料集では特に、「5. 医療費等と疾病の関係をみる」、「6. 健康の構造と変化をみる」、「7. 疾病と食事、地域の関係をみる」について、その構造を整理することを試みました。この作業を進める過程で、その構造がこれまで十分に整理できていない課題が浮き彫りになりましたので、今後、この活用を進めることによってその整理を行っていくこととなります。

① 都道府県においては、管内の市町村と協働して施策の成果を得るために必要なデータの把握及び整理を行い、全国や他県と比較し、特徴や課題をとらえてみましょう。

保健所設置市、特別区においては、必要なデータの把握及び整理を行い、全国、都道府県及び類似の自治体と比較し、特徴をとらえてみましょう。

本資料に掲載したデータに限らず、それぞれの地域で施策を推進する上で必要なものを適宜加えつつご活用ください。

なお、引用されている各種調査の結果については、定期的に公表されているデータもあることに留意して、各自で最新データに更新しながらご活用ください。

② それぞれの自治体の課題を改善するために、統計データや地域住民の生活の観察結果などをもとにからだの実態、食事の実態及び地域の実態との関連を構造的に整理し、取り組むべき事項を明らかにしてみましょう。

③ ①、②の整理をしつつ、「目指す成果」につながる体制の効果的、効率的な仕組みや重点となる施策を考えてみましょう。

### 【本資料集に掲載した図表について】

- ・ 出典：各種報告書等で示されている図表をそのまま引用した
- ・ 資料：各種報告書等で示されているデータをもとに作表、作図等を行った

## 目 次

1. 人口の構造と変化をみる
2. 平均寿命と健康寿命をみる
3. 死亡の状況と原因をみる
4. 社会保障給付費の構造をみる
5. 医療費等と疾病の関係をみる
6. 健康の構造と変化をみる
7. 疾病と食事、地域の関係をみる
8. 被災地の栄養・食生活支援を例に、実際の対応から、今後の災害  
対応を考える
9. 目指す成果から、特定給食施設の栄養管理を考える
10. 目指す成果から、行政栄養士の配置を考える

別添 1 東日本大震災の対応状況（栄養・食生活支援）等について

別添 2 行政栄養士業務指針における関連通知